

17年間過ごした土地

徳川家康(幼名松平竹千代)は6歳から19歳までの約12年間を今川家の人質として駿府(静岡市)で過ごし、29歳から45歳の約17年間は浜松に在城。45歳で駿府城へ移った4年後に江戸城に移るが、75歳で亡くなるまでの約10年間は再び駿府で過ごしたことから、静岡県は徳川家康ゆかりの地として有名である。今回は、家康が働き盛りに過ごした浜松市の史跡を中心に浜松の地域資源の一つ「家康の散歩道」を紹介したい。

「家康の散歩道」とは、浜松市の中心部にある家康ゆかりの地を歩いて巡るコース。13年に浜松市が実施した「家康の散歩道ウォーク」では、スマホアプリに表示された地



④浜松城 ⑤東照宮



図をもとに目的地に近づいた際に出題されるクイズに答え

ながら浜松の歴史旅をするイベントも開催された。家康の散歩道は特に巡る順番が決まっているわけではないが、浜松駅を出発して15カ所を巡る移動距離は約11キロ。15カ所を巡り浜松駅まで戻る場合は約15キロであるため、15カ所を巡り、史跡の見学や休憩、昼食、寄り道を考慮すると、散歩には丸一日必要だ。

一般財団法人日本不動産研究所 ⑩ 地域資源を生かす ～まちづくりからインバウンドまで

静岡県浜松市

家康の散歩道は、①徳川秀忠公誕生の井戸、②浜松八幡宮、③椿姫観音、④東照宮、⑤五社神社、⑥家康公鑑掛松、⑦浜松城、⑧本多肥後守忠貞

ら、家康公が遠州攻略のために築いた城。現在残っている遺構は天守曲輪を中心とする

ゆかりの地を巡る「家康の散歩道」

小さな発見に出会える

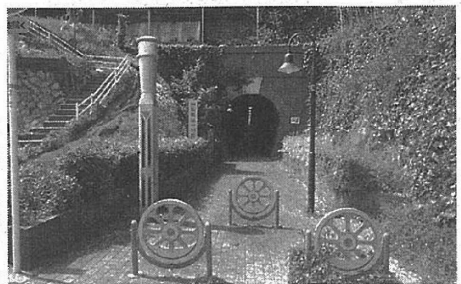
の碑、⑨犀ヶ崖古戦場、⑩夏目次郎左衛門吉信の碑、⑪普濟寺、⑫西来院、⑬宗源院、⑭浜松市博物館、⑮太刀洗の池がコース。全てのポイントに特徴があり楽しめるスポットだが、今回は⑦浜松城、⑧本多肥後守忠貞の碑について紹介したい。

浜松城は、遠江の経路拠点としては引間城が手狭であったことが

④家康公鑑掛松 ⑤涼しく景観の良い亀山トンネル跡



ら、家康公が遠州攻略のために築いた城。現在残っている遺構は天守曲輪を中心とする



ため、自らが矢面に立って武田軍の猛追撃を食いこめたが、最期は刀一本で敵中に斬り込み討死にしたいといわれている。なお、浜松城と本多肥後守忠貞の碑の間に通過する亀山トンネル跡は涼しく景観が良いお勧めスポットである。

隠れた観光スポット

家康ゆかりの地には、今回紹介した浜松城のように有名な場所もあるが、小さな史跡や目立たない史跡も多く、日常生活の中では、見逃してしまいがちなものが数多くある。これらは地域の中に組み込まれた隠れた観光スポットであり、浜松での一日散歩は、小さな発見に出会えるチャンスかもしれない。(浜松支所、不動産鑑定士・松島芳知)